

第45回関東甲信越地区退職校長会連絡協議会研究協議会資料

存在感ある退職校長会を目指して —会員の交流活動と社会貢献活動の推進—

埼玉県

I 本会の現状（会員数、支部数、入会率の動向等） 10支部 57班

(平成)年度	22	23	24	25	26	27	28
会員数(人)	3569	3601	3634	3679	3695	3695	3686
入会率(%)	87.5	89.3	90.4	90.4	82.9	84.2	85.2

※上記7年間の平均入会率は87.1%。直近3年間では84.1%で入会率の向上が課題

○本部の組織 ☆『本部』⇔『支部』⇔『班』

☆・支部長会 ・理事会 ・本部専門部会 ・幹事会
(3回) (2回) (2～3回) (随時)

II 会員の交流活動（現状と課題）

1 定期総会

本県の定期総会は、毎年6月初旬に実施している。全県を東→西→南→北→さいたま市の5地区に分割し、巡回方式で開催するところに特色がある。

平成28年度総会案内者⇒支部会員12人当たり1人の代議員制で定数311名。その他役員35名、総会実施委員87名（一部代議員と重複）等。総会出席者総数⇒322名。

・「アトラクション」 ・「講演会」 ・「美術展」 ・「懇親会」を同時開催

2 「彩の国教育の日」協賛「現職・退職校長支部別教育推進協議会」

本県では退職校長会結成以降、一部支部において現職・退職校長の意見交換の場を設けていた。その会を更に充実させるべく、昭和47（1972）年、東西南北4会場で合同研修会をスタート。昭和55（1986）年には9支部に拡大した。平成15（2003）年に『彩の国教育の日』協賛事業とし、その年誕生したさいたま市を含めた10支部全てで表題の協議会が発足し、今日に至る。参加者数約1000名余。本会は、県教育の充実発展を図るため、現職との連携を重視するとともに、PTAや地域住民の参加も更に促進していく。

3 現職・退職校長会役員研究協議会

現職との交流会として平成9年度より12月上旬に実施。参加者は、小中学校長会正副会長・幹事長・事務局長、退職校長会正副会長・事務局長・幹事・顧問（約40名）。現・退の立場で当面する教育の諸課題、活動内容等について情報提供。質疑応答を行う。

4 会報・ニュースレター

【広報部会と会報の発行】部会は広報担当副会長、女性退職校長会代表、各支部代表の計13名で構成され、年2回の開催。会報の内容の検討や会報に関する意見・情報の交換等を行っている。会報は年3回（4・8・1月）発行し、各支部の配達取扱者を経て全会員に配布。また現職校長会や関係諸機関等、可能な限り広範に配布している。会員との架橋となる会報を目指し、正しい情報提供、不偏を心がけるとともに、多くの会員の執筆を念頭に充実した紙面作りに努めている。

【ニュースレターの発行】平成20年度より、年2回、A4版両面刷2ページで時宜に適った諸情報を提供。10月は研究調査部、3月は福利厚生部が編集を担当。

5 ホームページ

平成28年4月から本会では、会の活動状況、活動内容を会員、現職校長等への情報提供を目的に「埼玉県退職校長会」のホームページを開設した。会の歴史、各専門部の活動内容、各支部・班の活動内容・状況等を掲載している。これまで会員には会報、ニュースレターで、情報提供してきたが、今後はより早く、より広く、より多様な情報が提供できると考えている。引き続き更なる内容の改善充実を図っていく。

○ホームページのアドレス <http://www.saitama-taisyoku-koutyou.com/>

6 囲碁・ゴルフ大会

会員相互の親睦を図るため県本部主催で、毎年10月に囲碁大会とゴルフ大会を実施。今年で囲碁は20回、ゴルフは11回目を迎えた。囲碁大会は、参加者が年々減少傾向にある。ゴルフ大会は各支部から3チームが参加、計30チーム120名が熱戦を繰り広げている。高齢者賞や女性参加賞など特別賞もあり、参加希望者が年々増加し調整に苦慮している。

Ⅲ 社会貢献活動（現状と課題）

1 「校長退職後の再就職・待遇に関する実態調査」

新会員を対象に平成9年度より継続して実施している。年金法の改正に伴い年金の満額支給年齢が65歳に繰り上げられる等の現状に対応し、校長退職後の再就職、待遇の実態を把握し、会員の福祉に資することを目的としている。

平成27年度は調査対象者163名、回収数139名である。再就職希望者は、平成25年度までは、平均61.8%だったが、26年度は73%に増加し、27年度は80%に上昇した。年金支給開始年齢の引き上げが大きく影響していることがわかる。

2 埼玉教育の振興等に関する要望活動

埼玉県退職校長会は、埼玉県教育の振興や退職校長の生活を守るべく、年金支給開始年齢の引き上げ等が話題となっていた平成8年より、毎年、時代に即応した要望を提出し続けている。現在は、会長・事務局長他担当組織で検討し、研究 調査部でとりまとめている。要望内容は、年金制度の改正に伴う課題、高齢者の医療費改正の問題、学力向上に関わる学校教育の諸課題等を取り上げている。昨今は、年金支給開始年齢の引き上げに伴う退職者の再就職が重要な課題となっている。

3 会員名簿作成、入会案内作成、物故者、傘寿、米寿等の広報

5年毎に全会員の名簿を発行。毎年新会員名簿も発行。氏名、住所、生年月日、電話番号を掲載するので、個人情報保護の観点から、取り扱いに注意を促している。入会案内を作成し、定年を迎える校長に、10月に配布。毎年退職校長会への加入は85%前後になる。物故者や 傘寿、米寿等の会員名は会報（毎年3回発行）に掲載するとともに、会則の慶弔規定に基き、祝い金と弔慰金を支給している。なお、米寿（88歳）以上の会員の会費は平成25年度から免除となっている。

4 退職教員講師派遣プロジェクト（平成18年4月1日より施行）

○目的 市町村教育委員会等が主催する研修会等へ退職教員を講師として派遣し、その優れた専門的知識や技能を現職の教員等に引き継ぎ、現職教員の実践的指導力の向上を図ることを目的とする。

○内容 埼玉県教育委員会が定める講師名簿に登録した退職教員講師を、市町村教育委員会等からの要請を受けて研修会等へ派遣する。

○本会からの登録者（平成27年度）

登録講師数 延236名（当該年度追加推薦講師数23名）

埼玉県退職校長会推薦 延178／236名（75.4%）